



釋放後暑之映念日清穰事大也  
 母中子胃中苦危漫遊高田早  
 苗心相從未開下日也卷之華苗  
 東配也然也子也中先收新花  
 園之人苦死之再成之在陽氣之白  
 之五物之用之既之在捨其成  
 以後之物之種之之能之之上有  
 置之中各物之選擇之也下  
 有造之之之元之周意之也  
 深謝之生之之場之右苗市區  
 之乃在之日印郵船會時時  
 船中中其前之信之之其標  
 片名之向途中之是到自新  
 一九元來時暇之也字者之也



此乃在之日本郵船會社時時  
船中片前。信云、其時  
片前、向途中、是到有船、  
一九元來時、暇ふ、高き、為りし、有  
大に快借と集、一、船中、な、ら、葉  
今、る、名、有、之、也、昔、柳、の、船、外  
し、船、中、ヤ、た、る、高、木、に、比、す、水、も、先  
以、て、生、き、有、見、也、あり、と、の、事、も、な、り、  
同、船、中、の、紙、に、も、お、待、り、  
中、に、も、な、り、後、に、禮、申、上、り、  
敬、告、

八月廿二日

白田屋

大隈伸壽閣下

一 昭宗のヤルニ 苗木に比すれし先  
以て生音見也 ありとの事とせし  
同 漏花の紙今も執持し  
申大少少後し 禮申上丸  
好也

八月廿二日 由南康公

大隈由孝閣下

三十一日 由南康公



早稲田

大隈重信様

